

上天草市地域公共交通計画（素案）に対するご意見と市の考え方

意見募集期間 令和5年1月23日（月）から令和5年2月17日（金）まで
 意見提出者数 3人（電子メールによる提出者2人、ご意見箱投函による提出者1人）
 意見件数 21件
 市の考え方の区分 ○意見反映、△意見未反映、□その他（感想、本案件以外への意見等）

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方
1	4.2 地域公共交通の将来像 2) 20年後の本市の公共交通 (1) 予測される変化 ①自動運転技術	21頁	自動車における自動運転技術の開発が進み、バスにおいても多くの自治体で実証実験が行われているので、上天草市も産交バスと連携して、いち早く導入できないかと思う。また、空飛ぶクルマも近く実用化されるという話もあるので、新たな移動手段や観光資源に利用できないか考える。	△ ご意見のとおり、新しいモビリティや技術の進展・導入が、本市が抱える地域公共交通の問題の解消につながるものと認識しております。 今後、社会の動向等を踏まえながら、23頁「②将来に向けて取り組んでおくべきこと」に記載のとおり、各事業に取り組んでまいります。
2	4.2 地域公共交通の将来像 2) 20年後の本市の公共交通 (1) 予測される変化 ⑤その他	21頁	内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されたからには、より迅速的にまずはバスにおいて電気バスなどの環境にやさしい車両を導入できないかと思う。	○ ご意見のとおり、バス車両においても、将来的には環境負荷を低減する車両への転換が必要と考えますので、26頁「■需要に応じた車両適用とバイアフリー化」の項目に、以下のとおり加筆します。 「これらと併せて、車両の更新の際は、電気自動車などの環境負荷を低減する車両の導入検討を行います。」
3	5.2 施策・事業展開 事業 1-1：路線バスの運行改善	26頁	主にさんぱーる・三角産交間の休日や長期休暇期の本数増加を検討してはどうか。また、平日・休日ともに、JRとう	△ 便数については、これまでの利用実績や移動ニーズ等を考慮し、民間事業者、国・県・市、地域住民の代表者、学識経験者の方々に構成

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方
	■効率的な運行ルート・ダイヤの見直し		まく接続ができると利便性が高まると考える。	する「上天草市地域公共交通会議」で協議し決定しているところです。今後も利用実績の分析や、37頁「事業6-1：意見交換会の実施」に記載したとおり、意見交換会等を通じて移動ニーズ等の把握に努め、必要に応じ見直しを行うなど、利便性の向上を図ってまいります。
4	5.2 施策・事業展開 事業1-1：路線バスの運行改善 ■需要に応じた車両適用とバリアフリー化	26頁	環境にやさしい車両導入とともに、利用状況に応じたサイジングなど、利便性低下につながらないように検討していただきたい。	△ ご意見のとおり、車両の更新等に当たっては、環境対策を踏まえつつ、26頁「■需要に応じた車両適用とバリアフリー化」に記載したとおり、利便性、経済性、及び安全性の低下を招かないよう、交通事業者と協議・調整を行ってまいります。
5	5.2 施策・事業展開 事業1-3：乗合タクシーの利用促進と運行事業者の負担軽減 ■効率的な運行・乗降場所の設定	27頁	現在の運行は市内のみということだが、三角駅方面など市外の一部へのエリア拡大ができれば、バスにはできない効率的な運用ができるのではないかと。	□ 本市の乗合タクシーは、市内を運行する路線バスを補完するものとして位置付けているため、市内のみの運行となっています。今後は、御意見いただいたようなものも含め、より効率的な公共交通網の構築を模索してまいります。
6	5.2 施策・事業展開 事業1-3：乗合タクシーの利用促進と運行事業者の負担軽減 ■交通系ICカード等のキャッシュレス決済の導入検討	28頁	世の中では様々な支払い手段が存在する。交通系ICカードに限らず、様々な決済手段を全ての交通手段に対応できれば、利用者のニーズに応えることができるのではないかと。	△ ご意見のとおり、多種のキャッシュレス決済の導入は、利便性向上につながるものと認識しておりますので、28頁「■交通系ICカード等のキャッシュレス決済の導入検討」に記載したとおり、様々なキャッシュレス決済の導入について検討します。
7	5.2 施策・事業展開 事業1-3：乗合タクシー	28頁	交通系ICカードは路線バスには導入済みであり、学生や帰省客が土日に利	□ 令和5年10月からの上島地域への乗合タクシーの導入に伴い、姫戸町及び龍ヶ岳町を運

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方
	<p>の利用促進と運行事業者の負担軽減</p> <p>■交通系ICカード等のキャッシュレス決済の導入検討</p>		<p>用できるため、姫戸、龍ヶ岳方面への路線バスは残すべきです。</p> <p>タクシーも土日は休みが多い他、松島・姫戸間で約5,000円、松島・龍ヶ岳間は約7,000円と高く、障害者・免許返納者割もありません。</p>	<p>行する路線バスが一部廃止となりますが、「さんばーる～松島～新道牟田漁港～赤崎線」は運行を継続します。</p> <p>他方、上島地域に導入する乗合タクシーの利用料金については、バス並みの運賃で設定しておりますので、多くの方にご利用いただくことを期待しております。</p>
8	<p>5.2 施策・事業展開</p> <p>事業2：交通事業者×地域×医療・福祉施設等との共創による移動手段導入のしくみづくり</p>	29頁	<p>施策2が設立してから路線バス廃止ではないのか？順序が逆である。タクシー運転手も高齢化しており、免許返納者と年齢が変わらない。またタクシーおよび運転手の不足により、白タク的行為が増える。</p>	<p>△</p> <p>本市では、現在、路線バスの廃止に当たっては、乗合タクシーの導入を併せて行っており、公共交通の確保・維持に取り組んでおります。</p> <p>タクシー運転手の高齢化等による担い手不足が今後の問題であることから、29頁「事業2：交通事業者×地域×医療・福祉施設等との共創による移動手段導入のしくみづくり」に記載したとおり、持続可能な公共交通を目指し、各輸送サービスとの連携について、調査・検討をまいります。</p>
9	<p>5.2 施策・事業展開</p> <p>事業3-1：観光客をターゲットとした公共交通機関と各種モビリティとの連携</p>	31頁	<p>上記にも述べたが、空飛ぶクルマもいち早く導入して天草の観光資源を上空から見るのもおもしろいのではないか。</p>	<p>□</p> <p>番号1で示した考え方のおりです。</p>
10	<p>5.2 施策・事業展開</p> <p>事業4：需要に応じた適切な交通モード</p>	<p>33頁</p> <p>(18頁、巻末-76頁)</p>	<p>どの路線が存続、廃止、乗合タクシーへ移行するのか分かりにくい。巻末への誘導がほしい。</p>	<p>○</p> <p>ご意見のとおり、読み手を巻末-76に誘導できるように、33頁「事業4：需要に応じた適切な交通モード」の項目に、以下のとおり加筆します。</p> <p>「※巻末-76「表 路線バスの運行継続基準に</p>

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方	
					対する対応方針」参照」
11	5.2 施策・事業展開 事業 4：需要に応じた適切な交通モード	33 頁 (18 頁)	乗合タクシーとバスの重複運行区間では、共通時刻表を作成するなどして、双方の認知度を上げてほしい。 回数券や定期券についても相互利用できるように運行事業者へ働きかけてほしい。	□	ご意見のとおり、令和 5 年 10 月からは乗合タクシーの運行エリアが拡大することから、路線バスとの相互利用を想定した時刻表の作成について検討してまいります。 回数券や定期券がバスと乗合タクシーとで相互利用できれば、非常に便利なものと考えます。回数券の相互利用については、他自治体でも導入実績があり検討の余地がありますが、定期券については、それぞれ運行ルート及び料金が異なることから、相互利用は困難と考えます。
12	5.2 施策・事業展開 事業 5-1：来訪者をターゲットとした移動手段に関する情報ポータルサイトの構築	34 頁	ナナメ上 ^ノ 上天草などの観光情報サイトにぜひ整備していただきたい。	△	「事業 5-1：来訪者をターゲットとした移動手段に関する情報ポータルサイトの構築」に記載のとおり、市の公共交通に関する情報を幅広く発信したいため、観光分野などと連携し、情報ポータルサイトを構築してまいります。
13	5.2 施策・事業展開 事業 5-2：市民・世帯をターゲットとした公共交通に関する情報発信	36 頁	令和 4 年(2022 年)11 月 5 日の熊本県内バス 100 円の日を利用しようと乗換アプリで調べたが、土曜日ダイヤで運行本数がなく、帰宅できないため断念した。現状では不便なため利用者が少ないのでは？ 日帰りで目的地へ繋がる運行系統はまずは見直す	□	番号 3 で示した考え方のとおりです。
14	参考資料 3 上天草市地	47	「龍ヶ岳」の表記が「龍ヶ丘」になっ	○	ご指摘のとおり、誤字を修正します。

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方	
	域公共交通活性化協議会委員名簿 ほか	頁、 巻末-52、巻末-55	ている。		
15	巻末2 地域の概況 (3) 施設立地状況 ①施設分布図	巻末-21	Aコープ龍ヶ岳高戸店は閉店し、龍ヶ岳店(大道)はAマート龍ヶ岳委託店へと規模が縮小している。(資料が古い)	○	ご指摘のとおり、当該施設の現況を踏まえ、修正します。
16	巻末3 地域公共交通の現状整理 (1) 路線バス・SUNまりんバス ①サービス水準	巻末-33	SUNまりんバスの運賃160円は安すぎる。(大矢野町が特別安い) 上島地区は距離があるため、高運賃を払っており比較水準が違う。	□	バス運賃については、距離等の要素を踏まえ、設定されております。 なお、地域循環コミュニティバス「SUNまりんバス」の運賃については、上天草市地域公共交通会議に諮り決定しております。
17	巻末5 地域公共交通の現状把握及びニーズ調査 3) 日常の移動について ⑥日常生活・目的別の自宅出発時間について ⑦日常生活・目的別の目的地到着時間について	巻末-53	特に午前中の移動が多いというデータがあるので、午前中を中心に本数を増加させると利便性向上につながるのではないか。	□	バス運行に係る発時刻(ダイヤ)及びルートの見直しに当たっては、これまでの利用実績や移動ニーズ等を考慮し、「上天草市地域公共交通会議」で協議し決定しているところです。 26頁「事業1-1: 路線バスの運行改善 ■効率的な運行ルート・ダイヤの見直し」に記載したとおり、利便性に配慮しつつ、運行の効率化を図ってまいります。
18	巻末6 地域公共交通事業者及び関係団体へのヒアリング調査 2) 関係団体ヒアリング	巻末-68	赤崎を終点ではなく、本渡方面まで延長、隣接市と接続する。本渡方面には年金事務所、公共職業安定所、携帯ショップや産交バス天草営業所等の手続拠点があるが、龍ヶ岳からバスでは行けな	□	公共交通網の見直しに当たっては、33頁「事業4: 需要に応じた適切な交通モードでの再編」に記載したとおり、地域の将来人口や移動実態などを考慮し、交通モードを転換するなど、地域の実情に合った輸送サービスを構築

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方
	調査 ■商業関連		い。 赤崎から望薩峠も国道 266 号改良工事により拡幅、時短されたため、本渡方面への路線を確保しておくべき。現在、教良木から本渡へは倉岳経由が 5 本、栖本経由は 4 本もあるではないか。	することが肝要であると考えます。 また、地域の要望等にも傾聴するとともに、想定収支にも考慮し、今後も利便性の高い公共交通網の形成に努めます。
19	巻末 8 生活交通導入ガイドラインの検証 1) 現行の生活交通導入の流れ並びに路線バス及び乗合タクシーの運行継続基準	巻末-75、巻末-76	運行集計期間が新型コロナ禍であり、その数値のみをもって運行継続基準とするのは不合理である。廃止する前に運行系統を見直すべき。	△ コロナ禍での運行実績であります。平均乗車密度及び 1 日当たりの輸送量はコロナ禍前から基準を満たしておらず、実績値はほぼ変わらないところです。
20	自由意見	—	市作成の時刻表で起終点と同じ物については、煩雑にならない範囲で同じ表にまとめてほしい。 (添付 EXCEL ファイルは、起終点と同じバス路線と乗合タクシーの時刻表をまとめた例)	□ 時刻表について、利用者が見やすく、かつ、分かりやすく活用できるよう、今後も工夫・作成してまいります。
21	自由意見	—	ヤマハ天草製造(株)へ外国人労働者等がバスで通勤していたようだがもういないのか？外国人労働者の受入れ施策と矛盾するのでは？	□ 令和 5 年 10 月の公共交通の見直しは、これまでの利用実績及び運行補助金などに鑑み、路線バスを一部廃止し、その代替交通として、乗合タクシーを導入するものです。 地域公共交通の維持には、需要と供給をバランスさせることが重要です。一部の需要があるかとは存じますが、地域公共交通におきましては、移動実態やそのニーズ、利用実績、

番号	意見箇所	対象頁	意見概要	市の考え方
				運行補助金など、総合的な見地から、適宜見直しを行ってまいります。